

2月8日 土曜授業の様子



1年生

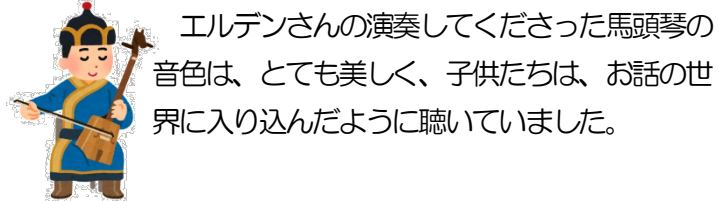
生活科「けん玉にちょうせん」では、日本けん玉協会の方々をお招きし、けん玉を教えてくださいました。見たこともない大技を見せていただいたり、けん玉のコツや簡単なゲームを教えてくださいましたと、あっという間の一時間でした。

名人にあこがれて、終了後もけん玉に挑戦する姿がたくさん見られました。



2年生

馬頭琴奏者のエルデンさんをお招きし、『スーホの白い馬』に出てくる馬頭琴の演奏を聴きました。また、物語の舞台「モンゴル」について教えてくださいました。



エルデンさんの演奏してくださった馬頭琴の音色は、とても美しく、子供たちは、お話の世界に入り込んだように聴いていました。



3年生

学校支援本部の篠原さんからお話をいただいた、「知りたい！昔の杉並区」。現在社会科で学習している昔の杉並区について、いろいろな話を聞きました。まさに学会会ときのセリフにあった、「知識豊かな地域の方々こそこの国の宝。」

これからも杉並区について、学ぶ意欲を高めていきます。



4年生

二分の一成人式を行いました。第一部では各教室で頑張っていることや得意なことの披露と将来の夢を発表しました。第二部では体育館で、呼び掛けやリコーダー演奏、合唱に加え、保護者の方を交えてレクレーションをしました。一つの節目を迎えて、大きく成長した子供たちの表情が頼もしく感じられました。



5年生

社会科の情報産業の学習で番組づくりをしました。教室を放送局に見立てて番組の本番を撮影しました。また、プログラミング学習をしました。「プログラミングとは何か」を考え、「スクラッチ」を使って正多角形の作図を実現するために、どのような指示ブロックの組み合わせが必要かを学習しました。

6年生

東京大空襲・戦災資料センターより二瓶治代さんを講師にお招きし、東京大空襲に関する体験談を聞きました。教科書だけでは分からない実際のお話は、知識や想像をはるかに超え、悲しくて残酷なものでした。子供たちもお話を聞きながら怖さや悲しみを感し、戦争を知らないけれど、きちんと学び次の世代に引き継いでいきたいと考えていました。



持久走週間

今年もこの季節に持久走週間を実施しました。昨年度同様、実施する学年を1度に3学年ずつにし、より自分のペースに合った走りを意識させました。ある子は楽しそうに、ある子は一生懸命に走り、とてもよい雰囲気で行うことができました。

授業では今年も全ての学年で記録会を行いました。記録を確認することで、「自分の体力の高まり」が自分自身でよく分かる活動にすることができました。



クラブ見学

今年度も、運動系文化系、特色のあるクラブが発足し、4・5・6年生が、おおむね月に1回のペースで活動をしています。上級生が下級生を教える姿も見られ、全員がそれぞれのクラブで自分の個性を磨いています。

来年度に向けて、2月10日（月）と17日（月）の2週に渡り、3年生が全てのクラブを見学しました。3年生は、早速「どのクラブに入ろう。」と、期待に胸を膨らませているようです。



家庭数

学校だより No502

令和元年度3月号 杉並区立八成小学校

はちなり

“つながる力”を育てる新しい八成へ

校長 押野 隆一

令和元年度もあと1カ月で締めくくりを迎えようとしています。本校では、理科教育の推進を重点として宇宙の学校や生物の配布などを行ってきました。子供たちの中に、理科に対する興味・関心を育てることができ、教育評価では84.3%と高い評価を得ることができました。これまでの成果を基盤として、八成小学校は更に飛躍していく時を迎えたと感じております。

10年後、20年後は、予測不可能な世界だと言われています。また、20数年後には、AIが人間の知能を超えるという指摘まであります。これからの未来を考えると、解決しなければならない課題は、学校から地球規模までさまざまです。それぞれが個々に取り組んでいくと、他の面で課題が起こることもあり得ます。だからこそ、未来を生きる子供たちが、自分の人生の主人公として豊かな感性と柔軟な発想でヒト・モノ・コトをつなげて考えていく力が大切になると考えます。より多くの経験・体験を通して様々なヒト・モノ・コトと出会い、自分理解を深めながら、自分から他とつながる意欲をもつ子供たちを育成していきます。

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催年です。そして、八成小学校が65周年の節目を迎える記念すべき年です。地域とつながり、文化と伝統とつながり、そのつながりを大切にする人材の育成を進めてまいります。

最後になりますが、年度末に校内の内装工事が行われます。掲示物等を楽しみにご来校される方もいらっしゃると思いますが、工事の都合で取り外しているところがあります。また、階段、廊下の通行にご不便をお掛けします。ご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年度 保護者アンケート肯定率

学校生活全般	88.5%
一貫教育／異校種の協働	63.7%
学校評価	74.6%
学級経営	84.3%
学習成果の実感	88.5%
学習評価	84.9%
教材教具(ICT)	86.7%
道徳教育	86.7%
体育・健康教育	88.5%
特別支援教育	65.6%
地域と共に在る学校	82.5%
(独自)いじめ未然防止	56.4%
(独自)特色ある学校の取組	84.3%
(独自)学校経営計画の推進	64.3%

学校評価説明会のお知らせ

副校長 楯 幸男

令和2年3月14日(土)2校時 9:25~10:10 視聴覚室

今年度の杉並区教育調査では、保護者の皆様から504通（回収率81.8%）の回答をいただきました。昨年より高い回収率となり、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

上のグラフは項目毎の肯定率（「とてもそう思う」「ややそう思う」に○が付いた割合）を示しています。3月14日の学校評価説明会では、さらに詳しい結果の報告と分析、学校内自己評価から今年度の課題とその改善に向かう令和2年度の取組について報告いたします。なお、学校評価説明会の後、同じく視聴覚室にてPTA総会が予定されています。多くの方のご参加をお待ちしております。

3月の予定 スクールカウンセラー来校 ☆浦山					主な予定	
		放課後 遊び	校庭 開放	カウ ンセラー		
1日	日		p.m			
2日	月	○			6時間授業(4ー6年) 理科教室(4年)	
3日	火	○		☆		
4日	水		p.m			
5日	木	○			音楽集会(1ー5年) かがやけ6年生の会 クローバーお弁当給食・昼遊び	
6日	金	○			保護者会(6年)15:15~	
7日	土		a.m			
8日	日		p.m			
9日	月				クラブ	
10日	火	○		☆	安全指導	
11日	水		p.m			
12日	木	○			児童集会 歯磨き指導(1年)	
13日	金	○				
14日	土				土曜授業 クリーン大作戦 学校評価報告会・PTA総会(視聴覚室)	
15日	日		p.m			
16日	月	○			委員会	
17日	火	○		☆		
18日	水		p.m			
19日	木				B時程 5時間授業(1ー4年,6年) 6時間授業(5年)	
20日	金		p.m		春分の日	


3月の生活目標

生活指導主任 増岡隆子

「次の学年の準備をしよう」

この1年間、毎月様々な目標に取り組み、生活を見直してきました。年度末は、今年1年の成長とこれからの課題について、一人一人が考える良い機会です。学級お別れ会や文集での思い出作り等もその一環です。

一方、みんなが使った教室では、身の回りを整理し、次の学年、クラスに気持ちよく使ってもらえるよう清掃活動に努めます。ご家庭でも、春休み中になりますが、学用品の補充や生活・学習の振り返り等、4月のスタートに向けて準備をよろしくお願ひします。



※ 避難訓練は予告なしで行います。

21日	土		p.m		
22日	日		p.m		
23日	月				給食終 4時間授業(1ー4年) 6時間授業(5・6年) 卒業式予行
24日	火			☆	4時間授業 修了式
25日	水		p.m		卒業式
26日	木				春季休業日始
27日	金				
28日	土		p.m		
29日	日		p.m		
30日	月				
31日	火				

4月の予定 スクールカウンセラー来校 ☆					主な予定	
		放課後 遊び	校庭 開放	カウ ンセラー		
1日	水					
2日	木					
3日	金					
4日	土					
5日	日					
6日	月	○			始業式 入学式	
7日	火	○		☆	給食始(2ー6年) 安全指導 5時間授業	
8日	水					
9日	木	○			一斉計測(全学年) 聴力(2・3・5年) 5時間授業	
10日	金	○			給食始(1年) 5時間授業	

卒業に向けて

6年担任 池田 矢部 小櫃

卒業式までいよいよ残りわずかとなりました。卒業文集に載せる作文の執筆や5年生と励まし合って頑張った持久走記録会、校長先生との楽しい会食、在校生から温かい気持ちをたくさんもらうなど、様々な行事を通して卒業に向けた子供たちの思いも日に日に高まってきています。

子供たちには、残りの小学校生活の中で、自分自身の成長をしっかりと振り返らせるとともに、これまでお世話になった保護者や地域の方々、教職員、そして、共に学んだかけがえのない友達への感謝の思いをもって一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

小学校生活の集大成となる卒業式では、立派に成長した姿を見ていただくことで、これまで関わってくださった全ての方々への感謝の思いをお伝えしたいと思います。